

出掛けるときに一工夫！

環境にやさしく 出掛けてみよう！

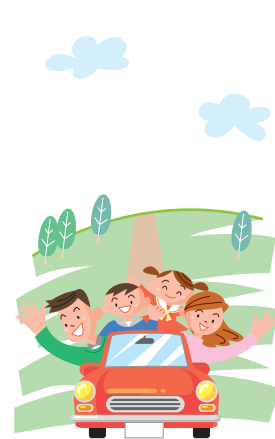
車はとても便利で、快適な乗り物です。しかし、道路の渋滞を招いたり、環境に悪影響を及ぼしたり、運動不足になったりするなど、困った問題もあります。みんなで、「かしこいクルマの使い方」を考えてみませんか。

クルマは便利で快適ですが

車は、移動時間の短縮や、経路・利用時間を自由に選べたり、重い荷物も運ぶことができたりするなど、公共交通機関に比べて便利で快適な交通手段であり、私たちの暮らしに欠かせない乗り物として定着しています。

しかし、このまま車に頼りすぎた生活を続けていくと、さまざまな影響を及ぼすことが考えられます。

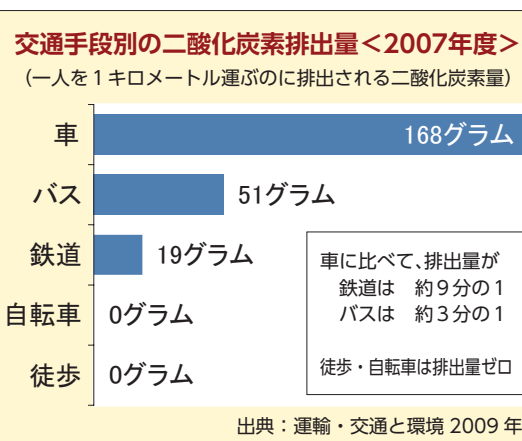
環境保全や健康維持、公共交通の充実など、「未来のまち」のために、私たちは今できることがあります。



クルマと二酸化炭素

「地球温暖化」といふ言葉を最近よく耳にします。これは、私たちが暮らす中で、二酸化炭素を空気中に排出するものが原因の一つと考えられています。地球の環境に車はこれだけ影響を与えているのでしょうか。

日常生活で排出される二酸化炭素の約3割は、マイカーからだと言われています。



クルマの利用を見直そう

私たちが車の利用を少しだけ控えるだけで、二酸化炭素の排出量を減らすことができます。

例えば、1日10分間、車の利用を控えると、テレビを1日1時間控えたときの45倍も二酸化炭素の排出量を減ら

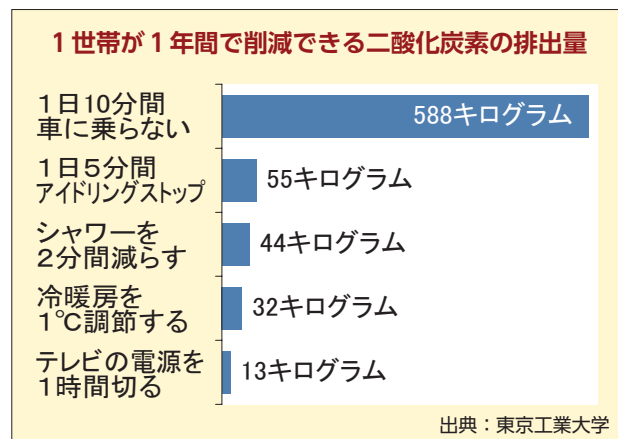
することができます。一人一人のわずかな見直しですが、大きな問題解決につながっていきます。

クルマと家計

皆さんは、車を維持していくために、どのくらいお金が掛かっているか、ご存知ですか。

例えば、排気量が1000CCの車を保有していると、保険・税金・車検・駐車料金や燃料代などの費用で、1日当たり約2000円必要になると言われています。さらに購入費・修理代などを考えると、実際にはもっと必要になります。

普段、私たちが生活する中で気にしているのは、燃料代くらいですが、実



かしこくクルマと 付き合いましょう

バスや鉄道を利用しましょう

- 週に一度は、電車・バスで通勤してみましょう
- 病院や買い物に行くときに、バスを利用してみましょう



市内を巡回するさつきバス

徒歩や自転車で出掛けましょう

- 近くのコンビニエンスストアなどに行くときは、車を利用せず、徒歩や自転車で行きましょう
- 勤務先が近くにある人は、自転車や徒歩で通勤してみましょう

はもっと費用が掛かっているのです。

バスや鉄道の乗車券を買う場合、費用が気になることもありますが、車の維持費を考え、公共交通機関を上手に利用すると、家計にもやさしいお出掛けができるのかもしれない。

クルマと健康

車で移動している間は、ずっと座っていることができます。しかし、健康にはあまり良くありません。

例えば、車を1時間運転する代わりに、バスや鉄道を利用すると、それだけで消費カロリーは2倍以上になると

いう試算もあります。



公共交通機関で運動不足解消

車で移動するときは、あまり歩きません。また、普段から車に頼ってばかり

一方で、バスや鉄道（電車）は、一度にたくさんの人を運ぶことができるため車に比べて、一人当たりの二酸化炭素の排出量が少なくなります。そのため、多くの人が利用することで、二酸化炭素の排出量を減らすことができます。

さらに、自転車や徒歩は二酸化炭素を排出しない、環境にやさしい交通手段と言ったことができます。

りの生活を送っていると、ちょっとした距離でも歩くことが面倒になったりするものです。

健康を維持するために必要とされる歩行数は、1日1万歩と言われています。歩くことが健康に良いことは皆さんご承知のとおりです。

たまには、通勤時などに公共交通機関を利用して、歩いてみませんか。

普段何気なく通っている道でも、笑顔のあいさつや鳥のさえずりに出会えば、

体も心もリフレッシュできるかもしれませんね。

クルマと公共交通機関

私たちが車に頼りすぎると、公共交通機関の利用者が減少してまいります。

今後迎える本格的な高齢化社会に、誰もが安心して利用できる「公共交通サービス」が低下してしまうことも考えられます。

市内では、鉄道やバスの利用者が年々減少する傾向にあります。既に一部の鉄道路線や路線バスが廃止され、名鉄広見線のうち新可児駅～御高駅間の存続問題も、利用者的大幅な減少が



要因です。



利用者減で、存続問題のある名鉄広見線

可児市には、高齢者だけで暮らしている世帯や、体が不自由な人など、さまざまな人が生活しています。このような人たちにとって、公共交通サービスが低下することは、切実な問題です。誰もが、いずれ高齢者になることを考えると、この問題は決して他人事ではありません。

公共交通機関を積極的に利用することとは、大切な公共交通を未来に残していくことにもつながります。

私たちが日々行っている「クルマ利用」は、本当にすべて必要なものでしょうか。ぜひこの機会に、環境にやさしい「かしこいクルマの使い方」を考えてみましょう。